

水稻特報

★ 適期収穫で胴割米を防ごう

本年の水稻の生育は、7月の曇天により遅れていたが、8月の連続した高温により遅れを取り戻した。**平年より2～3日早い（昨年より5日程遅い）**出穂期となりました。また、今年も刈り遅れによる胴割米の発生が課題となります。今後の気象は高温傾向が予測されていますので、胴割米発生による1等比率の低下が心配されます。成熟期の判定を正確に行い、胴割米等の品質低下の発生を未然に防ぎ良質米生産につなげましょう。

1. 落水時期の目安：概ね刈り取り予定の2週間前から落水

早期落水は充実不足（お米が太らない）や胴割れ米の発生増加につながります。刈り取り予定にあわせて落水をしましょう。
※ただし、圃場の条件（乾くのにかかる時間）によっては早くなる場合があります。

2. 成熟期の判断方法

①**稲から見た成熟期**（詳しくは裏面の「帯緑色籾歩合による収穫適期判断法」をご覧ください。）

- （1）穂の大部分の籾が黄化し、**穂首に近い部分の籾に10～5%程度青みが残る頃**（穂から**青みが完全に抜けたら胴割米発生**）
- （2）**主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃**（穂軸の3分の2が黄化）
- （3）籾の黄化程度が90%の頃（バインダー刈りの場合）

②出穂期後の日数から見た成熟期

- 早生種：40～45日（あきたこまち）
- 中生種：45～50日（コシヒカリ、風さやか、もちひかり、モリモリモチ）
- 晩生種：50～55日

③登熟期積算温度から見た成熟期

中野市における**登熟期積算温度**（注1）は、概ね**1030℃前後**（コシヒカリ：南部985℃、北部1030℃、キヌヒカリ：1055℃、あきたこまち：950℃、風さやか概ね1,150℃）ですので、仮に9月1日以降平年並みの気温で推移したとして試算すると以下のよう
に成熟期が予想されます。

収穫適期は、**登熟期の5日前～5日後の11日間**となります。（注2）

<例>コシヒカリ（南部）で8月6日出穂の場合、**成熟期**が9月15日で、**収穫適期**は9月10日～9月20日の11日間となります。

出穂期（注3）	成 熟 期			
	あきたこまち	コシヒカリ（南部）	コシヒカリ（北部）	風さやか
7月28日	9月3日			
7月31日	9月6日			
8月3日	9月10日	9月11日	9月13日	
8月6日	9月13日	9月15日	9月17日	9月24日
8月9日	9月17日	9月19日	9月22日	9月28日
8月12日		9月23日	9月26日	10月3日
8月15日		9月29日	10月1日	10月9日
8月18日		10月4日	10月7日	10月16日

（注1）登熟期積算温度：出穂期の翌日から成熟期までの平均気温の積算値

（注2）風さやかは登熟期の5日前で刈ると青未熟米の混入増加が心配されます。

（注3）出穂期：全茎数の40～50%が出穂した日

◎本年の出穂期の状況

品 種	出 穂 期	品 種	出 穂 期
コシヒカリ	南部 8月6～10日頃	あきたこまち	7月29日～8月1日頃
	北部 8月8～13日頃	風 さ や か	8月8～13日頃

※1 上記は移植栽培の出穂期です。直播栽培の場合は7日遅れの出穂期となっています。

※2 圃場の条件や田植日によって違いますので、あくまでも参考として下さい。

～米を出荷される皆様へ～

1. クサネムの発生している圃場が目立ちます。クサネム混入は品質低下となり、規格外となります。

クサネム等混入がないように、必ず収穫前に抜き取りをして下さい。

※ライスセンターの調整時での除去は困難です。
1000粒中に3～4粒混入で2等、5～6粒混入で3等、7粒以上混入で等級外になります。

2. 新元号に伴う紙袋の年産の表記について

◎ 年産の前が空白の場合

「 年産」⇒「令和 元年産」、「令和 1 年産」、「1 年産」、「元年産」いずれでも大丈夫です。

◎ 年産が印刷されている場合（昨年の残り等）

「平成31 年産」⇒そのままで大丈夫です。同じ年とわかるので訂正不要。

「平成30年産」⇒「平成30年産」二重線を引いて訂正し、上に「令和 元年産」と記入してください。

◎「令和元年産水稻栽培日誌」及び「JA 長野県安心基準米チェックシート」の提出について

春先に配布した『令和元年産水稻栽培日誌』は、産地並びに自分の栽培した農産物の安全性を保证する大切な資料となりますので、必ず記帳いただき、提出をお願い致します。また、春先に配布した「JA 長野県安心基準米チェックシート」へも記入していただき、2 枚複写のうち1 枚目を栽培日誌とともに出荷時に必ず提出くださるようお願い致します。

言 己

- 1. 提 出 先 南部・北部各ライスセンターまたは各事業所総務経済係まで
- 2. 提 出 日 ライスセンター出荷時
- 3. 対 象 者 米を出荷する方（自家用のみの方は提出の必要はありません。）

※栽培日誌または、安心基準米チェックシートをもらっていない、失くしてしまったなどありましたら、事業所総務経済係または園芸課まで連絡をお願いします。

※ご不明な点などありましたら、園芸課 担当技術員までお問い合わせ下さい。（TEL 23-3933、FAX 26-0258）15989167

◎帯緑色籾歩合による収穫適期判断法

1. 調査方法

- ①平均的な生育をしている株を選び、その中で最も長い穂を2つ選んで下さい。
 - ②1つの穂にある全ての籾の数を数えて下さい。（不稔籾は除く）
 - ③わずかでも青味の残る籾の数を数えて下さい。（不稔籾は除く）
 - ④全籾数のうち、青味の残る籾の割合（帯緑色籾歩合）を算出して下さい。
- ※穂全体の籾数が数えられない場合、目安として100 粒と仮定して算出して下さい。

2. 判定方法

- ①帯緑色籾歩合が20％・・・成熟期の約10 日前（刈取り適期約5 日前）
- ② " 10％・・・成熟期の約 5 日前（刈取り適期始期）
- ③ " 5％・・・成熟期 （刈取り最適期）
- ④ " 2％・・・成熟期後 5 日 （刈取り適期終期）
- ⑤ " 0％・・・成熟期後 5 日以上（刈り遅れ）⇒ 胴割米発生



◎はぜ掛け乾燥を行う皆さんへ

はぜ掛け期間の目安

- 好天が続き、空気が乾燥している場合・・・4～ 5 日間
 - 降雨が少なく、晴天が多い場合 ・・・7～10 日間
- 乾燥状態を確かめる水分測定は南部・北部各ライスセンターで出来ますので、お問い合わせ下さい。

*乾燥⇒濡れ⇒乾燥を繰り返すと、胴割米の発生増加、食味の低下などにつながりますのでご注意下さい。
*ハーベスターは使用前に必ず掃除を行って下さい。ネズミの巣となっている場合があります、糞など異物混入の恐れがあります。